

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

島々を抱く穏やかな海とともに
生き続けるためのプロジェクト



令和4年4月20日
熊本県上天草市



自治体SDGsモデル事業の概要

全域的な課題

- ① 人口減少と高齢化の進行（2040年総人口17,188人、65歳以上が総人口の半数に）
- ② 生産年齢人口減少抑制のため基幹産業の魅力的な雇用環境の整備が必要
- ③ 人口減少を抑制するため、コロナ禍を機と捉えた移住促進の充実が必要

取組

1. 経済面の取組(海を活かす) 【全域的課題①・②・③への対応】

豊かな資源を活用した観光振興と水産業のDXを活用した技術革新

【対策】

- 水産業のスマート化の推進
- 道の駅さんばーるを核とした産品販売の拡大
- 自然環境を最大限に活かした働き方改革の推進（ワーケーション事業等）

2. 社会面の取組(海と生きる) 【全域的課題①・③への対応】

持続可能なまちの実現に向けた担い手の確保及び人材の育成

【対策】

- 働き方改革による副業可能な人材の確保等
- 環境学習を通じた地域の再確認と環境活動担い手確保
- 強みである自然環境を活かした移住促進

3. 環境面の取組(海を守る) 【全域的課題②・③】

エネルギーの域内循環及び海を中心とする自然環境の保護

【対策】

- 再生可能エネルギー活用に向けた検討
- カーボンオフセットの取組
- 海をきれいにして水産資源を回復させる取組
- 地域エネルギー会社の創設

成果

- ・DXによる人手不足解消
- ・観光・一次産業の活性化
- ・雇用機会の創出



- ・働き手確保による企業活性化
- ・郷土愛醸成、人口減少の抑制



- ・温室効果ガスの削減
- ・水産資源の維持
- ・地域経済の循環



島々を抱く穏やかな海と生きていくために・・・

水産業のDX、GXの取組を推進



三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要)①

「海にきらめく島々を活用したサステナブルシティ事業」

【海、島々、五橋の好循環の仕組】

◆ 本市の象徴的・普遍的な資源である海を守る

社会と環境をつなぐ取組

- 樋合島（自然との共生）
- 湯島（GXの推進）
- 大矢野島大手原地区（働き方改革）
- 維和島（コミュニティ醸成）



3.環境面の取組 (海を守る)

環境と経済をつなぐ取組

- ブルーカーボンオフセットの取組（脱炭素の推進）
- 前島（脱炭素の推進拠点）
- 樋合島（自然との共生）
- 湯島（GXの推進）

SDGsを推進するプラットフォーム

2.社会面の取組 (海と生きる)

- ◆ 海の恩恵を受けることで生活が持続できる
- ◆ 生活の質の向上に取り組む
- ◆ 将来を担う子供たちに海の大切さを伝え人材を育成する



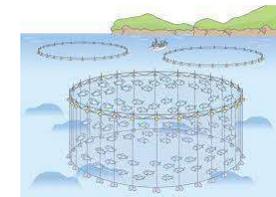
1.経済面の取組 (海を活かす)

- ◆ 海を中心とする資源などの恩恵を受けて活かす



経済と社会をつなぐ取組

- 前島（脱炭素の推進拠点）
- 湯島（GXの推進）
- 大矢野島大手原地区（働き方改革）
- 維和島（コミュニティ醸成）





三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要)②

1 海を守り活かすことによる島々の有効活用

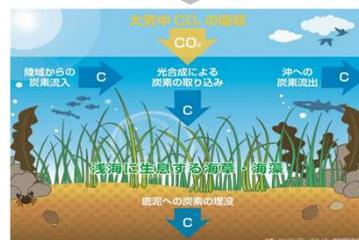
(1) 全島的な取組 (ブルーカーボンオフセットの取組)

藻場の二酸化炭素の吸収を通じて温室効果ガスの削減を目指すブルーカーボンオフセットに取り組み、GXを推進する。

上天草市SDGs行動推進協議会及び上天草市グローバルベンチャーラボが中心となり、上天草市、株式会社NTTグループが協力し、熊本県海運組合などが参加して藻場整備を行い、熊本県海運組合などがクレジットを購入して環境負荷軽減を図る。
＜令和3年度における株式会社NTTグループの取組＞

①上天草市大矢野町の浅瀬で海そうが生えている面積を測定。②海中から海そうを採取し、湿重量を測定。③既存計算式により、海そうのCO₂吸収量を測定。④実証内容と算定結果をプレスリリース予定(令和4年4月中)。

熊本県海運組合、全日本内船主組合、漁業関係者、上天草高校生など



※1 上天草高校生など子供たちが参加することで自然環境の保全意識を育み、地域の再発見につなげ郷土愛醸成を図り、SDGs担い手を確保。

熊本県海運組合などクレジット制度の導入

※2 内航船においては、再生可能エネルギーの転換には多額の費用が必要となるため環境負荷軽減に取り組む。

藻場整備から郷土愛の醸成へ(※1)

可視化による環境負荷軽減(※2)



三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要)③

1 海を守り活かすことによる島々の有効活用(2) 島々の取組

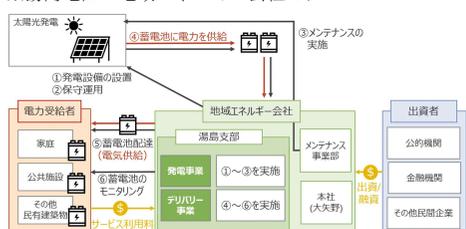
各島の課題などに応じた独自の施策を展開して、横展開を図りSDGsを達成する。



<横展開の方法と持続的な取組方法>

上天草市SDGs推進パートナー(仮称)を任命して、他島に応じた施策を展開することで新たなパートナーを生み出し、最終的には市民のSDGsの知見を広めることで、持続的にGXを踏まえたまちづくりにつなげる。

※湯島地区の地域エネルギー会社モデル



湯島(GXの推進)

地域エネルギー会社の創設<行政・民間>
→GXの推進・環境学習の拠点化

CO2排出削減、環境の担い手確保



※イメージパース



樋合島(自然との共生)

リゾート施設の整備<民間>
→自然と共生するまちづくり・関係人口増加

環境保全、産業活性化

上天草SDGs推進パートナー(仮称)

市内地域に赴き、地域に応じた施策の展開
→市民全員がSDGsを推進



※イメージパース

大矢野島大手原地区(働き方改革)

ワーケーション施設<民間>
→関係人口増加→移住促進

産業活性化、産業の担い手の確保

※地域おこし協力隊



維和島(コミュニティ醸成)

アルベルゴディフーズの実現<民間・行政>
→地域コミュニティ醸成・関係人口増加

防災力強化、産業の活性化

※Five Bridge Resortのミオ・カミーノ天草



前島(脱炭素の推進)

Five Bridge Resort整備<民間・行政>
→交流人口増加・パーク&ライド

産業活性化、CO2排出削減



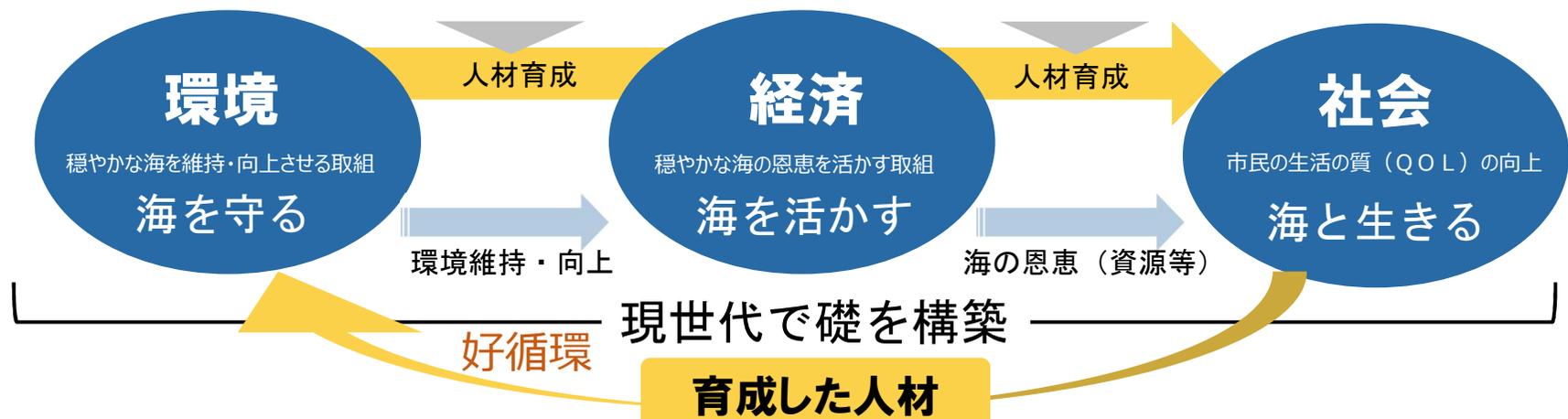
三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要)④

2 海の大切さを伝える人材育成とコミュニティの醸成

(1) 海の大切さを伝える人材育成、(2) コミュニティの醸成

現世代においてSDGsに取り組む循環を構築し、国内外のSDGs等の先進事例を学ばせて育成してきた人材が、築いた循環を受け継ぎ、継続的にSDGsに取り組みGXを推進していく。

環境学習(湯島・内航船の再生可能エネルギー化の検討)、SDGsバーチャルキャンプ事業



<地域を牽引するリーダーから防災力の向上>
育成した人材は、地域活動などを通して地域に貢献するとともに、リーダーとなって、地域を牽引することでコミュニティが醸成する。コミュニティの醸成により地域防災力が高まり、より強固なサステナブルシティが構築される。

地域コミュニティの醸成



<地域の活動>

- ブルーカーボンオフセットの取組
- カーボンオフセットの取組
- 海洋プラスチック回収
- 地域における分別ごみの取組 等

防災力の向上



三側面をつなぐ統合的取組(補助対象事業の概要)⑤

3 SDGsを推進するプラットフォームの構築

(1) 上天草市SDGs行動推進協議会(仮称) : 全体マネジメント

(2) 上天草市グローバルベンチャーラボ(Gラボ) : 事業推進支援

上天草市SDGs行動推進協議会(仮称)はSDGsの全体マネジメントとして、上天草市グローバルベンチャーラボは、CEOの指示のもと各種団体等のSDGsの取組を支援しGXを推進する。

上天草市SDGs行動推進協議会

- 構成 熊本大学、区長連合会、上天草市商工会、天草四郎観光協会、天草漁業協同組合あまくさ農業協同組合、熊本県海運組合、市民
- 役割 SDGsの取組の全体マネジメント、CEOを設置してSDGsの取組を推進



CEO(ネットワークが広く環境部門に精通した学識経験者)

上天草市グローバルベンチャーラボ

- 構成 地域おこし協力隊OB・OG、地域おこし協力隊
- 役割 SDGsの取組の推進支援

CEO指示 ↓ 海・島々・人材育成などSDGsの実施団体の取組の推進を支援しGXを推進





自立的好循環の具体化に向けた事業の実施

総合計画将来像

人と海のふれあうまち

～地域資源を活かした、新しいまちの上質な価値の創造～

島々を抱く穏やかな海で自然の恵みを生かしたサステイナブルシティ



海の実施の推進、海の実施を助長する島の実施のプラットフォーム

五橋

全体マネジメント

事業推進支援

上天草市SDGs行動推進協議会

上天草市グローバルベンチャーラボ



経済・社会・環境の各側面の相乗効果

(統合的取組によって生じる相乗効果)

